

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	55%	自校A B層の割合	55%

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> 授業において一人一台タブレット端末やホワイトボード等を活用した、解法の意見交換の時間をつくる。 毎回の授業で自分の考えや振り返りを書く時間の確保及び、書いた内容の交流を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力定着の時間として「スギニタイム」を設定し、「ドリルパーク」を行う時間とする。 読解力を高めるために、毎週木曜日の朝学習として「スギニYOMUYOMUタイム」を5・6年生を対象に実施する。 2年から6年生で東京ベーシックドリルを3回実施する。加えて4・5年生は江戸川区学力定着度調査を年間3回行い、児童の苦手を把握し、授業や補習で取り扱う。 	<ul style="list-style-type: none"> 江戸川っ子study weekとスギニ家庭学習キャンペーンを関連付け、保護者に家庭学習の実施を確認してもらう機会として学期に2週間程度実施する。 「江戸川っ子読書科コンクール」及び「調べる学習コンクール」に取り組み、全員が提出できるようにする。
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	<ul style="list-style-type: none"> ホワイトボード書く際に解法のヒントカードを提示したり、個別に声掛けをしたりする。 考えや振り返りを書く際に話型を提示し、個別にも支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人カルテとしての補習ファイルを活用して、一人一人の苦手に応じた補習を行う。 ベーシックドリル・区学力定着度調査の結果から児童の苦手領域を把握し、「杉ニタイム」で重点的に取り扱う。 	<ul style="list-style-type: none"> スギニ家庭学習キャンペーンの時期だけでなく、常に宿題の実施を確認できる連絡シートを活用し、家庭との連携を図る。
成果指標	学校独自のアンケート「授業の内容は分かりますか」各学年・各教科肯定的意見 85%以上	3回目の江戸川区学力定着度調査8割達成児童数 70%以上	全国学力調査「授業時間以外の勉強時間」1時間以上の回答割合 80%以上